



2024 JR総連春闘勝利！シリーズ⑦

リニアは経営破綻にまっしぐらだ！ 要員不足を解消せよ！ 2024春闘第5回団交

本部は本日、2024年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する申し入れに対する第5回団体交渉を開催しました。今回は、リニア建設、適正要員の配置、更衣時間、組合掲示板の設置などについて議論しました。

リニア建設について、本部は「経費の4分の1がリニア建設に回されている。こんな経営のあり方なら経営破綻は確実だ。しかも、10年以上も計画が遅れていることや、資金調達、返済計画の見通しも立っていない。能登半島地震では、4m以上も隆起した箇所がある。震域は150kmにも及ぶ。東海道新幹線とはすぐの距離で、大地震があればリニアも壊滅だ。今すぐ建設を中止せよ」と主張しました。会社は「健全経営・安定配当を堅持し、大動脈輸送のためにはパイパスは必要だ」などと、具体性に欠ける回答に終始し、建設ありきの姿勢を崩しませんでした。

適正要員の配置について、本部は「年休が出ないのは要員不足の証左だ。職場では、管理者が休日出勤のお願いをして回っている。世間を上回る取得日数（2022年度で約18日）」と主張しました。会社は「要員は会社が責任をもって配置している」と、言い逃れに終始しました。

更衣時間について、本部は「厚生労働省のガイドラインすら守れないことは、法令違反と同様だ。就業規則で制服着用が義務づけられている」と主張しました。会社は「更衣する時間、場所は指定しておらず、指揮命令下にはない。ガイドラインには反していない」などと、言い訳に終始しました。

組合掲示板について、本部は「労働協約第16条には人数は謳われていない。1人でも組合員がいれば、協約に則り掲示板を設置せよ。設置を拒否することは協約違反だ」と主張しました。会社は「協約に則り、会社が人数の基準を決めて許可を出している。他の組合と公平に行っている」などと傲慢な態度に終始しました。

以上で申し入れに対する議論は終了し、次回の団体交渉で回答を受けます。